

認定NPO法人おんがくの共同作業場 ONBA NPO 音場ニュース

歌いたい人・聴きたい人のための会報 第141号 2020/8/9発行

みつつの願い

- 1) 声楽・合唱作品の演奏に多くの方々に参加していただくこと。
- 2) 私たちの演奏を多くの方々に聴いていただくこと。
- 3) 聴いていただいた方々に、その作品の感動を伝えられる演奏をすること。

おんがくの共同作業場の
東日本大震災
音楽復興支援基金
2020.5.20 現在
現在の残金 834,327 円
Since 2011.3.11

コロナ対策への寄付金
(NPO への寄付金)
1,655,800 円
Since 2020.5.01

9 月、10 月の演奏会に向けて

郡司博

マスク、手洗い、社会的距離。何とも不愉快なこの状況がいつまで続くのか、誰も見当がつかない。まして誰も示してくれない。

4月、5月と練習とコンサートがなくなり、6月から少人数の練習が、7月からは半数ずつ交代の練習が始まった。大きな不安は合唱団が再開した時、いったい何人の人が集まってくれるのか？残ってくれるのか？これまで50年かけて作りあげてきたものが、いちどきに崩れ落ちるのがみえるようだった。アマチュアの合唱など三密、不要不急の最高位にランクされるものであり、ただの大声と訓練された発声を同列視し合唱を飛沫感染の元祖のように恐怖を煽るむきもある。それに私事だが75歳の立派な後期高齢者になり、これを機会に「周りが迷惑だからそろそろ引退したら」と苦言も聞こえてきそう。自分でもそう思わないでもない。だがコロナに負けて、引退して、天国に行ったら久しぶりで出会う先輩たちにみつもなくて顔向けもできない。なんとか良い方向で解決ができるまで頑張らなければと思うのだが、その頑張る手段もなかなか思い当たらない。所詮僕は合唱指揮者。そこで渡部智也さんが発信した「コロナ禍に自宅でできる発声練習」の評判の良さに刺激をうけ、今練習中の楽曲を郡司指揮の動画入りDVDを作り全員に配った。一作目を出したところで気に食わないところを発見、結構大変な思いをして第二作目を作ったので見ていただければ幸いです。一回目は普段着だったが今回は舞台衣装で、これをみた団員からの反応はまだない。

アマチュアという合唱団員の前で指揮をして10年ほどたった時、若気の至りで、ある有名なコンサート指揮者と争いをおかし追放され、それまで雇われ指揮者であったことに愛想を尽かし自分で合唱団を立ち上げた。新星日響、都響、日本フィル、新日フィルとの共演の機会も得てクラシック音楽の名曲や大曲にも挑戦する機会を得た。その間、新星日響の解散を始め想定外の困難はあったが、今回の「コロナ」ほど敵を見極め戦う手段を明確にできなかったことはなかった。

40年近く前の話だがバッハの『ロ短調ミサ』を練習している時、練習会場が毎回変わり会場探しにも苦労していた時（これは今でも変わらない）、カクニビルのオーナーの伏見さんが「どうぞここをお使いください」と提供してくれたのがカンマーザールだった。そこはその後練習の拠点となり、小さなサロンコンサートも頻繁に行われ、事務所も倉庫も充実し、合唱練習やコンサート運営のエンジン部分となった。今回の自粛期間、コンサート・練習会場がどこもない中、自由に使えるのがこのカンマーザールだけだった。他のほとんどの会場が閉鎖や使用が限定される中で、ここは自由に使えた。これまで共に活動してきた演奏家仲間にも声をかけ、7月&8月で13回のコンサートが行われることになった。また6月から徐々にはあるが合唱団の練習も再開した。カンマーザールがどこよりも早く動き出したのである。練習やコンサートでは感染防止のためアクリルボードやビニールシートを配置した。9月に予定している初のコンサートでは演奏者とお客様がともに安心できるように合唱団員には個人用の透明ボードも考えている。当然合唱団員やお客様にも手指消毒をお願いし、マスク着用と検温にもご協力をよびかけている。

サロンコンサートはベテランから若者まで多様な演奏家が出演してくれている。現在まで約1/3が終わったが、どの出演者も数ヶ月間の沈黙状態から解放され、のびのびと自由闊達、自由自在な演奏を繰り広げてくれている。それまで手足もがれていた彼らが一気に両手両足を広げ爆発させたのである。聴衆もいつもと違い、連れ立ってくる人はいない。みな押し黙り修道僧のように待ちに待った開演をまつ。私は緊張と集中の中に生まれる奏者と聞き手の一体感と胸を刺す演奏に感動した。

合唱練習も間隔を2メートルあけることで合唱の原点ともいえる一人一人が頼らず自力で音楽をしていく、そして頂点を作り上げようとする意欲がうまれた。合唱の理想とする姿がそこにあったのだ。これからは何があるかわからない。準備中の9月5日、10月17日のコンサートも、いつ中止せざるを得なくなるか誰もわからない。もちろんまだ以前のような音楽活動は復活していない。世間的にはアマチュア合唱は三密や不要不急の最たるものに違いないが、復活は誰もやってくれない、私たち自身一人一人がやる以外ないのである。それも最大の忍耐と慎重さを持って。

ロシア音楽フェスティバル 2019 に出演して下さった皆さんから コロナ渦に苦しむ私たちに励ましのメッセージがきました



後閑理恵

昨年7月、「おんがくの共同作業場」の皆様からご招待いただき、ロシアの民族楽器奏者3人と一緒に日本でのコンサートに同行させていただきました。今年2月には渡部智也さんと吉永哲道さんがロシアを訪れ、モスクワのスクリャービン博物館でリサイタルをされ、同じくモスクワにあるグネーシン音楽院や、宇宙飛行士訓練センターがあるモスクワ郊外の「星の町」でロシアの民族楽器奏者たちとコンサートをされました。音楽を愛し、音楽に人生を捧げている人たちと共有できる時間は、何ものにも代えがたい、至福のひとつでした。

当時はまさか世界中が未知なるウイルスによってこれほど大きく変わってしまうとは思いませんでした。ロシアでは3月から本格的な新型コロナウイルス対策が始まり、外出制限が導入され、コンサートを含む行事やイベントが中止されました。モスクワでは8月1日から劇場やコンサートホールなどの営業再開が許可されましたが、入場は収容人数の50%などの制限が課されています。そして事実上、演奏活動は今もストップしたままで、多くの演奏家が先の見えない生活を送っています。

民族楽器奏者3人も、演奏家として活動する機会がほぼない状態が続いています。ただ彼らはネガティブな面に焦点を当ててではなく、今の状況から何かポジティブなものを見つけ出そうとし、いま自分にできることに取り組んでいます。バラライカ奏者のザハラトは若い音楽家の育成、グースリ奏者のガブリレンコは作曲活動や楽器製作、バヤン奏者のミロネンコは子供向けの新しい音楽劇の制作などに力を注いでいます。

ミロネンコは「私たちは日本とロシアという国で遠く離れて暮らしていますが、音楽は人の心を近づけ、結びつけます。これはとても大切なことです」と語っています。バラライカのザハラトは「近いうちにも嫌なことはすべて終わり、より良い世界が訪れることを信じてください。ステージに戻った時にはさらに大きな喜びを感じることでしょ。そしてその幸福や感謝の気持ちと共にお客さんに喜びを贈りたいです」と話しています。グースリのガブリレンコは「音楽活動ができない今の状況に苦しみ、悲しむならば、それは皆さんの中に音楽への愛がある証拠です。愛は苦しみを伴いますが、最も素晴らしいものです。苦しみは愛がある証拠。愛のある皆さんの人生は何よりも豊かです」とのメッセージをおくっています。

今回のコロナをめぐり、世界は一つであることを強く感じています。この不安な時に、多くの人が音楽に癒され、音楽から生きる力を得ています。現在の状況の中で、音楽家とお客さんが同じ空間で音楽を共有できる機会を提供するという「郡司博の仲間たち～カンマーザールサロンコンサート」は、とても強いメッセージです。私は「思いは伝わる」と信じています。「おんがくの共同作業場」の皆様のご活動により、音楽への愛、人への愛がさらに広く、より深く伝わり、未来へとつながっていくことを信じております。



エフゲーニー・ミロネンコ(バヤン)

2019年7月、私たちロシアの音楽家(エフゲーニー・ミロネンコ:バヤン、コンスタンチン・ザハラト:バラライカ、マクシム・ガブリレンコ:グースリ)は、郡司先生や合唱団、日本の音楽家の皆さんと個人的に知り合い、共演する機会に恵まれました。これは私たちにとって大変光栄なことであり、喜ばしいことでした。またこれは単なる出会いではなく、日本とロシアという2つの国の音楽家たちの真の創造的な結束、団結でした。私たちは遠く離れて暮らしていますが、音楽は人の心を近づけ、結びつけます。これはとても大切なことです！

今年2月にトモヤとテツミチがモスクワを訪れ、「星の町」やグネーシン音楽院で一緒にコンサートをしてからすでに数ヶ月が経ちましたが、まるで昨日の日のようです。しかしこの間に、世界中の人々の生活が大きく変化しました。残念ながら、2020年は新型コロナウイルスによる病気が発生し、世界中の国に大きな損失をもたらし、それは人々のコミュニケーションに影響を与えました。この恐ろしい病気により、劇場やコンサートホールは営業を停止し、事業を継続できなくなった人もいれば、企業活動も停止しました。最も辛いのは、大切な人を失った人たちがいることです。ですが現在、コロナをめぐるロシアの状況はよくなっています。日本の状況もよくなっていることを願っています。私は多くの国が力を合わせることで、この病気に打ち勝つことができると信じています！そして、皆さんと必ずまたお会いすることができるでしょう！郡司先生、トモヤ、テツミチ、そして日本で出会ったすべての皆さんのご健康と、芸術活動における新たなご成功をお祈りしています！



コンスタンチン・ザハラト(バラライカ)

親愛なる日本の皆さん！皆さんにお便りを差し上げることができることをとても嬉しく思います。今もまだ昨年の夏に皆さんが住む日本という素晴らしい国で得た感情が私の心に満ち溢れています。日本を訪れるたびに、日本の人々の信じられないほどの優しさや気配りに驚かされます。ロシアには「新年を祝ったように一年が過ぎる」という諺があります。例えば、喜びに溢れて新年を迎えれば、喜びに溢れた一年になる、という意味です。私はこの諺を皆さんにちなんで「日本で迎えられたように演奏旅行は過ぎる」、思いやりを持って迎えられたら、その演奏旅行は思いやりに溢れたものになると、言い換えたいと思います。皆さんの温かい心、大きな拍手、そして日本の音楽家と「おんがくの共同作業場」のスタッフの皆さんのプロとしての高い意識や技術に心から感謝いたします。

新型コロナが影響を与えていますが、皆さんが落胆せず、近いうちにも嫌なことはすべて終わり、より良い世界が訪れると信じることを願っています。私たち演奏家はステージに戻ったらさらに大きな喜びを感じることでしょ。そしてその幸福や感謝の気持ちと共にお客さんに喜びを贈りましょう！



マキシム・ガブリレンコ(ゲースリ)

親愛なる郡司先生、トモヤ、テツミチ、岸本先生、「おんがくの共同作業場」の皆さん、日本で出会ったすべての皆さん！私の大切な皆さん一人一人の目、皆さんの眼差しを覚えています。皆さんが私にプレゼントしてくれた愛に心から感謝しています。私には日本への愛、日本文化への愛が生まれました。私は今も日本で過ごした日々をよく思い出します。皆さんと出会えたことを幸せに思っています！

今は困難な時期であり、先人たちはこの試練を私たちがどのように克服するかを天から見守っています。私は今この時、私たちが自分の内面と向き合い、そこに愛を見つけることが大切だと考えています。私は、郡司先生や皆さんの活動を尊敬しています。皆さんの活動はとても大切で必要なものです。今は非常に困難な時期ですが、どうぞ音楽を奏で続けてください。音楽のない世界は、死んだ世界です。音楽活動ができない今の状況に苦しみ、悲しむならば、それは皆さんの中に音楽への愛がある証拠です。愛は苦しみを伴いますが、最も素晴らしいものです。苦しみは愛がある証拠。愛のある皆さんの人生は何よりも豊かです。

今は困難な時期であり、先人たちはこの試練を私たちがどのように克服するかを天から見守っています。私は今この時、私たちが自分の内面と向き合い、そこに愛を見つけることが大切だと考えています。私は、郡司先生や皆さんの活動を尊敬しています。皆さんの活動はとても大切で必要なものです。今は非常に困難な時期ですが、どうぞ音楽を奏で続けてください。音楽のない世界は、死んだ世界です。音楽活動ができない今の状況に苦しみ、悲しむならば、それは皆さんの中に音楽への愛がある証拠です。愛は苦しみを伴いますが、最も素晴らしいものです。苦しみは愛がある証拠。愛のある皆さんの人生は何よりも豊かです。

☆NPO事務局から

- ・感染症拡大により、特に大きな影響を受けている事業者に対して、継続を支え、再起の糧となる、持続化給付金の申請をし、給付を受けました。
- ・立川市の中小事業者緊急家賃支援金(実質 1 ケ分)を申請し、給付を受けました。

● 2020. 10.17[土]新宿文化センター大ホール オーケストラと合唱のコラボレーション 【後援】

①11:45 開場 12:00 開演 全指定席 3000 円

★チルコット:ジャズミサ

指揮:渡部智也/東京トリニティーコール

★モーツァルト:レクイエム

指揮:内藤裕史/オルガン:早川枝里子

オラトリオ・シンフォニカ JAPAN/ピアノ:小林牧子

独唱:足立歌音、岩石智華子、西山詩苑、原田光

合唱:東京オラトリオ研究会 賛助出演:向日葵の会

②14:50 開場 15:15 開演 全指定席 S4000 円 A3000 円

★ブラームス:ドイツレクイエム

指揮:古谷誠一/パイプオルガン:小林牧子

管弦楽:オラトリオ・シンフォニカ JAPAN

独唱:澤江衣里、原田光

合唱:東京オラトリオ研究会、新星合唱団、立川コーラス・アカデミー

③18:40開場 19:00 開演 全指定席 3000 円

★バッハ:モテット イエスわが喜びより

指揮:渡部智也/コール・クラント

★ベートーヴェン:ハ長調ミサ

指揮:郡司博/管弦楽:OSJ

独唱:井上響子、岩石智華子、田中雅史、後藤駿也

合唱:東京オラトリオ研究会、樺の会、ベートーヴェン 250 年シリーズ合唱団、小平コーラス・アカデミー

Concert Guide 2020

チケットのお申し込みはお電話、メールで

TEL:042-522-3943 / e-mail:npo@gmaweb.net

※下記は出演者等内容が変更になる場合もございます。

新型コロナウイルス感染予防のため

- ・客席前方及び、各席の前後左右を空席とするので、販売席数は通常の半分以下となります
- ・ステージ先端にアクリルボードを設置します
- ・合唱団はシールドやマスクをします。
- ・当日券はございません。
- ・お客様には手指消毒、マスク着用をしていただき、入場の際に検温いたします。
- ・チケットにはお名前と連絡先をお書き頂きます。
- ・ソーシャルディスタンスを保っていただき、開演前、休憩時の際は、極力会話を避けるようお願いいたします。

● 2020. 9.5[土]小金井宮地楽器ホール コロナによる分断から音楽による連帯へ 【主催】

①11:15 開場 11:30 開演 全指定席 2000 円

★熟練したアーティストによる気品あるバロックの名曲を

・ヘンデル=ハルボルセン:パッサカリア

ヴァイオリン:中島ゆみ子、チェロ:松本ゆり子

・F. バッハ:二重奏曲第 4 番へ長調 FK57

フルート:吉岡次郎、オーボエ:中山亜津紗

★ベートーヴェン生誕 250 年

「交響曲第 9 番」より第 3 楽章&第 4 楽章

指揮:右近大次郎/ピアノ:松本康子

電子ピアノ:越前佳織、早川枝里子

独唱:見角悠代、立川かずさ、松原陸、大井哲也

合唱:ベートーヴェン 250 年記念シリーズ合唱団

②14:40 開場 15:00 開演 全席指定 2500 円

★郡愛子 慈しみのステージ

・Amazing Grace/落葉松(小林秀雄)/神よ憐れみたまえ

★民話オペラ「石になった男」新版

作曲・指揮:須賀力哉/独唱:渡部智也、土井尻明子

松本康子 pf/吉岡次郎 Fl/中山亜津紗 Ob

中島ゆみ子 Vn/松本ゆり子 Vc

③18:20 開場 18:45 開演 全席指定 2000 円

18:30 より杜の歌こども合唱団の演奏を 3 分間流します

★未来派コンサート

・ディヴェルティメント-フルート、オーボエ、ピアノのための-

作曲・Pf:大村萌樹/Fl:川崎萌菜/Ob:森松炎山

・ピーター・ホープ:4 つのスケッチ

Ob:森松炎山/Fg:森松風仁/Pf:大村萌樹

・テノール:佐保佑弥

・チェア:フェデリコの嘆き、ドニゼッティ:人知れぬ涙 他

・Vn望月ゆり子 チャイコフスキー《ヴァイオリンコンチェルト》より

★日歌合唱団

指揮:郡司博、ピアノ:小林牧子

・中山晋平:10 のメロディより 黄金虫、砂山、しゃぼん玉

・林光 日本抒情歌曲集より 中国地方の子守歌 他

・佐藤真:混声合唱組曲「旅」より 行こうふたたび

合唱練習・コンサートにおける感染予防対策

★シンガーシールド

現在コンサートに向けて合同リハーサルや舞台上で使うために製作を依頼中。軽い水道用パイプで枠組みを作り、一人ずつガードの中で歌うためのもの。各自管理のビニールシートを自分の目の下の高さに合わせて貼る為、目線を遮ることなく響きが上に飛ぶ。

★ビニールシート

ホームセンターや100均などで比較的手に入りやすい。練習会場によってはハンガーラックが備え付けてあり、ラックにビニールを掛けて洗濯バサミでとめる。練習会場にない場合でも、感染予防対策のためと申し出ると借りられる場合がある。新宿文化センターも4本OK

★アクリルボード

透明感があり、指揮を見やすいが、重さもあり、ある程度大きくなるため持ち運びには少々不便。

★アルコール消毒

ご自分で使用した椅子等は、使用后各自がウェットティッシュ等で拭きとる。また布や木などの材質を傷めないために、電解水も有効だが、揮発性がないため乾きにくいので布などで拭き取りが必要。

★マスク

練習が始まり、マスクの暑さ、息を吸い込むと吸いついてしまう、口を開けにくく無理に口をあけると鼻や顎からはずれてしまうため、合唱団の皆さんの中には自力で歌えるマスクを作っている方が多くいます。下記もどうぞご参考に。

①東京混声合唱団発案によるマスク

歌えるマスク1枚 1,300円＋税
※東京混声合唱団での販売は10枚以上から受付
※パナムジカ(楽譜販売)は1枚からも可
HP: <http://www.panamusica.co.jp/ja/>
下記に歌えるマスクの取り扱い方説明があり、ご自分で作る場合には参考になります。
<https://toukon1956.com/callus/projects/mask/>

②舞台衣装の(株)奥山による合唱用マスク

「呼吸しやすい、歌いやすい、相手に飛沫を極力飛ばさない、感染しにくい、湿気や暑さを軽減する、洗濯できる」を解決するマスク。基本のマスクは数種類あり、外にスナップで抗菌できる前垂カバーをとめることができます。(注文は各10枚～)

※ただしいずれも注文から日数が必要です。

申 込 書

令和 年 月 日

※印はもれなくご記入ください

※お名前 ふりがな

※ご住所 〒

※TEL/Fax

e-mail

下記該当項目に○をつけてください

① 公演チケットの申し込み

公演日 月 日 会場 曲目

希望券種 S・A・B・自由 枚数 金額

※入金方法はチケット送付時にお知らせいたします

② 新規入会をお待ちしています

会員種別 個人 団体 / 正会員 賛助会員

・ゆうちょ銀行振り込みの予定 月 日頃 / ・演奏会場や合唱団などでの現金

③ ご寄付、募金

認定NPO法人おんがくの共同作業場へのご寄付

金額 領収書・要・不要・無記名希望

こども合唱団育成のためのご寄付

金額 領収書・要・不要・無記名希望

音楽復興支援のための募金(ゆうちょ銀行専用口座00170-0-358797)

金額 領収書・要・不要・無記名希望

注) 無記名希望の領収書は確定申告に利用できません。寄附者名簿にも載せません。

認定 NPO 法人

おんがくの共同作業場

〒190-0012

東京都立川市曙町 2-25-1

カクニ第2ビル3F

TEL042-522-3943

FAX042-522-3937

<http://www.gmaweb.net/npo/>

e-mail: npo@gmaweb.net

会員数: 182名 2団体

(2020/3/20 現在)

ゆうちょ銀行口座番号:

00160-5-553981

特定非営利活動法人

「おんがくの共同作業場」

<正会員年会費>

個人 3万円 団体 20万円

<賛助会員年会費>

個人 1万円 団体 10万円

認定 NPO 法人へのご寄附、募金に、寄附金控除(所得控除)との選択により、税額控除が適用できるように改正されました。

